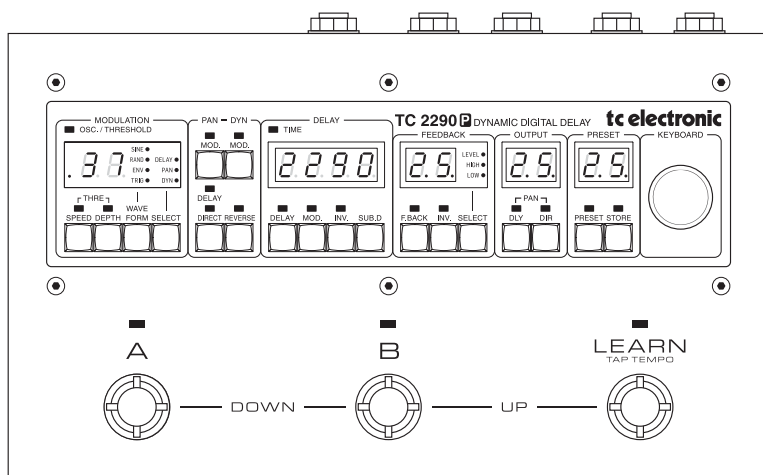




2290 P DYNAMIC DIGITAL DELAY

Pedal Reissue of Legendary 2290 Dynamic Digital Delay with 128 presets, 3 Footswitches, Dedicated 'Learn' Tap Tempo with Sub-Divisions and Feedback Path FX Insert

JP

JP 安全にお使いいただく
ために

注意
感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なブ口用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブル およびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

注意
火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

注意
このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

注意
取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前の良にお読みください。

注意
1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。
10. 電源コードを踏みつけた、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。
11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。
12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。
13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもののみのみをお使いください。

もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蠟燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45°C 以下の温帯気候でご使用ください。

技術仕様

バイパスモード

バイパスモード

トゥルーバイパス

コネクタ

入力/リターン

2 x 1/4 インチ TS、アンバランス型、インピーダンス > 1 MΩ

出力/センド

2 x 1/4 インチ TS、アンバランス型、インピーダンス 100 Ω

エクスプレッションペダル

1 x 1/4 インチ TRS

MIDI 入力および出力/スルー

2 x 5 ピン式 DIN

USB ポート

USB-C コネクタ

電源

電源入力

標準 5.5 / 2.1 mm 250 mA 9 VDC、センターマイナス

物理的仕様

標準動作温度範囲

5° - 45°C (41° - 113°F)

サイズ

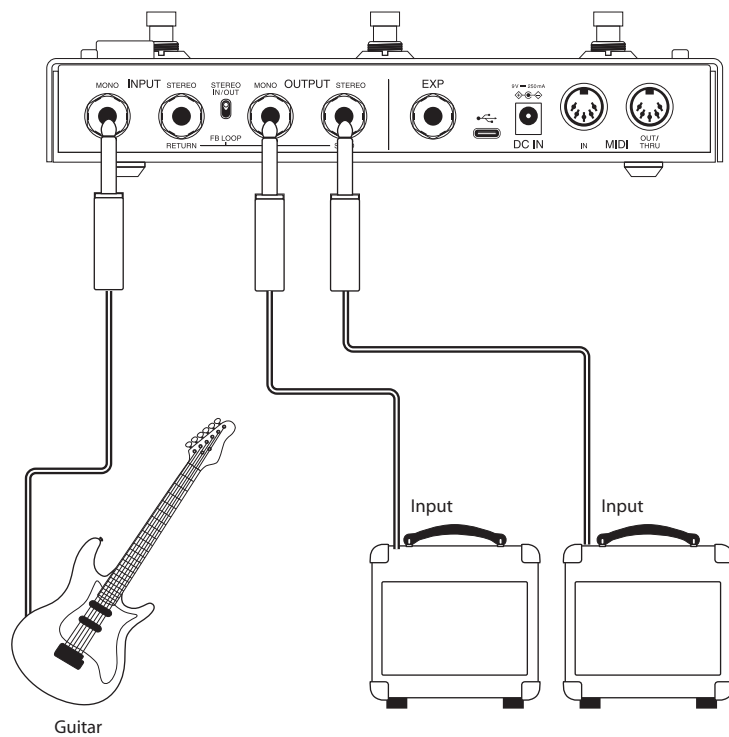
233 x 137 x 54 mm (8.8 x 5.4 x 2.15 インチ)

重量

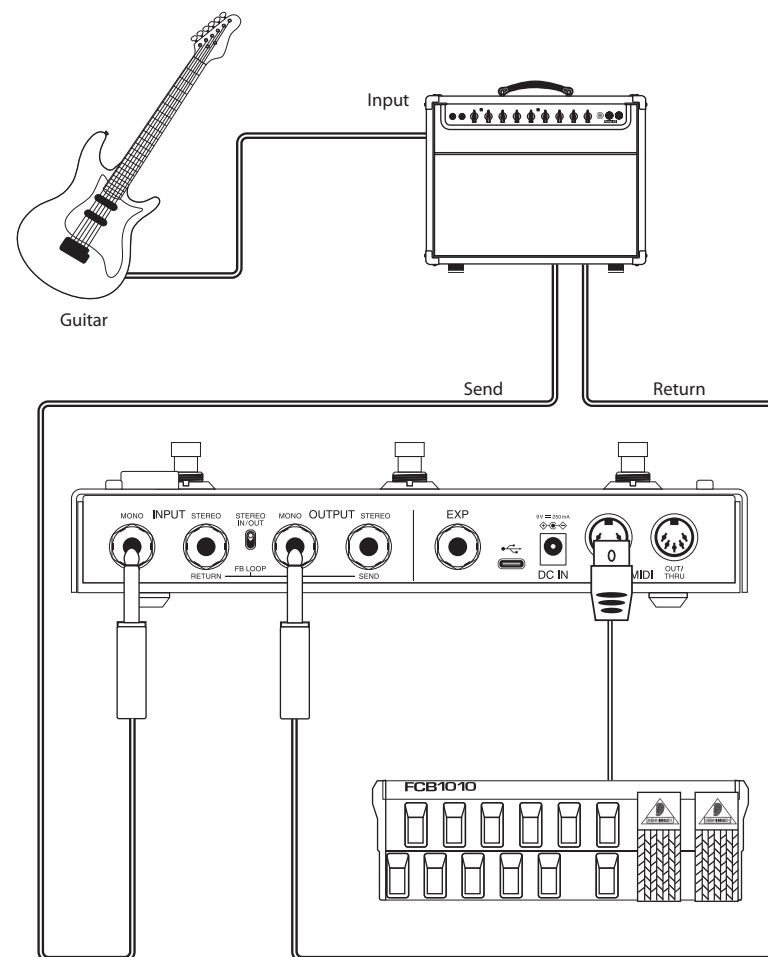
0.97 kg / 2.14 lbs.

2290 P フックアップ

ステップ 1: フックアップ



アンプリファーへのステレオ デュアル出力



MIDI コントロール装備アンプリファー センド/リターン エフェクトループ

はじめに

ペダル

2290 P は、包括的なコントロールおよびパラメーターを搭載した高機能ダイナミックデジタルディレイで、壮観なサウンドを創造できます。新たに生まれ変わった、不朽の広範囲ステレオパンニングとモジュレーション機能、そして見事なディレイ効果を、ぜひ存分にお楽しみください。

プリセット

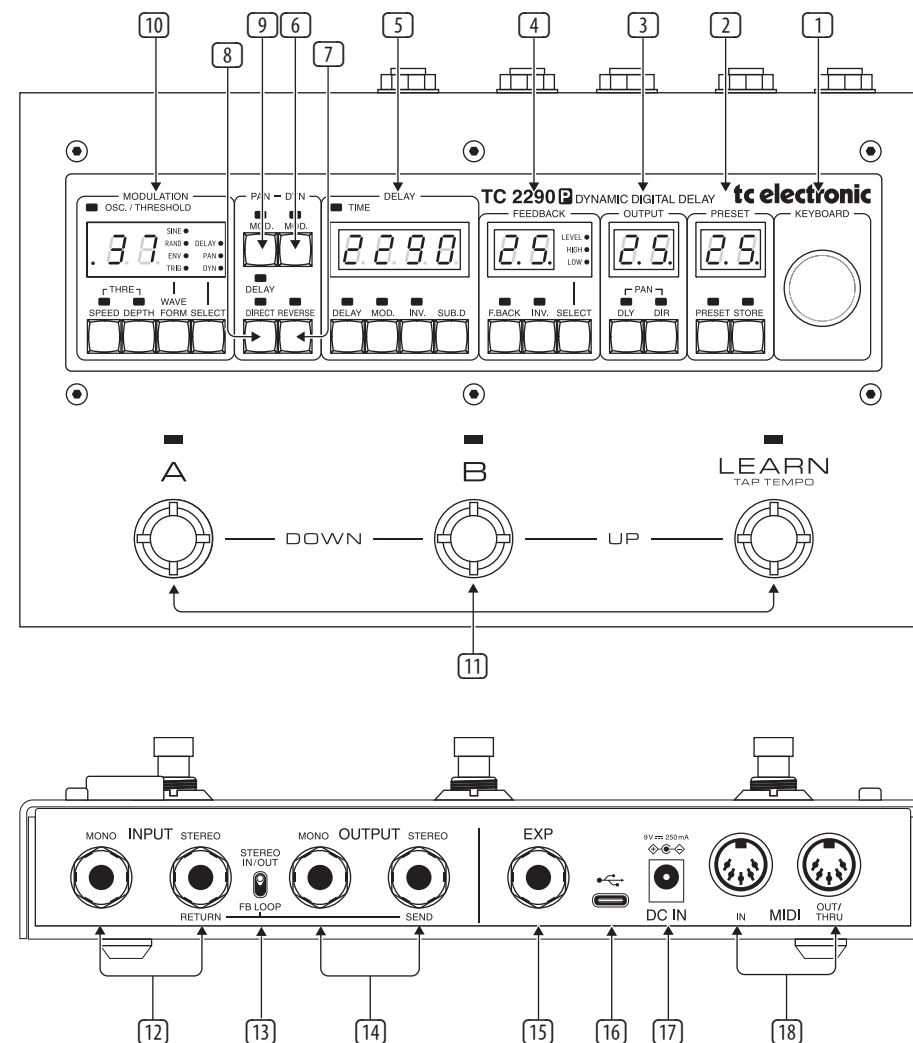
2290 P には素晴らしいプリセットが多数搭載されています。プリセットのうち 20 種類は、1985 年のオリジナル 2290 ラックユニットよりインポートされたもので、残りのプリセットは、2290 P のために細心の注意を払い、きめ細やかな調整を経て製作されました。2290 P の 64 のボードそれぞれにおいて、2 種類のプリセット (A および B) が使用可能で、128 のプリセットをお好みに応じて構築・カスタマイズできます。まずはシンプルなお好みのプリセットから開始し、変更を加え、保存して、音楽スタイルに合わせて、ペダルをインスピレーション溢れる音でいっぱいにしてください。

2290 P ソフトウェア アプリケーション

ペダルのプリセットは、無料の 2290 P アプリを使用して再編成できます。当社 Web サイト www.tcelectronic.com にアクセスし、最新バージョンをダウンロードしてください。

アプリには、オリジナルの 2290 P プリセットがすべて含まれており、MIDI クロックの設定、タップテンポモード、外部エクスプレッションペダルのモディファイアーなどを再構成できます。アプリ内には、便利な MIDI CC の全機能のリストもあります。

2290 P コントロール



ステップ 2: コントロール

- ① **KEYBOARD (キーボード) エンコーダー**
ペダル設定の大半を調節するエンコーダーです。パラメーターの調節は、ボタンを押してから KEYBOARD エンコーダーを回し、任意の設定にします。
- ② **PRESET (プリセット) 部**
PRESET (プリセット) – ここを押すと、64 種類のボードを循環します。PRESET を再度押して選択したボードを読み込むか、もしくはフットスイッチでプリセット A もしくは B を直接有効化します。64 種類のボードには、それぞれ A と B の 2 種類のプリセットが含まれるので、プリセットは合計で 128 種類となっています。
- STORE (保存)** – ここを 1 度押して、プリセットの保存場所を選択します。もう一度押すと、プリセットを保存します。必要に応じて、STORE ボタンを押す前に、KEYBOARD エンコーダーおよびフットスイッチ A または B を使用して、プリセットスロットの変更 (緑色のスロットが有効) およびボード番号変更をおこないます。
- ③ **OUTPUT (出力) 部**
DLY (ディレイ) – ここを押してディレイ信号の出力レベルを調節します。出力信号の位相を反転するには DLY ボタンを 2 回押しします (0 = 反転無し、1 = 出力反転)。
- DIR (ダイレクト)** – ここを押してダイレクト信号の出力レベルを調節します。
- PAN (パン)** – DLY と DIR を押して、左右間の定位の量を調節します。パンの量は、ダイレクトとディレイ信号の両方で制御できます。パンニングの有効化については、**PAN** – DYN (パン – ダイナミクス) の項をご覧ください。
- ④ **FEEDBACK (フィードバック) 部**
SELECT (セレクト) – ここを押して 3 種類のフィードバック設定のいずれかを選択し、表示または調節します。SELECT を押すとフィードバックレベル (LEVEL)、ハイカットフィルター (HIGH)、ローカットフィルター (LOW) を循環します。

F. BACK (フィードバック) – ここを押して、選択中のフィードバックの値を調節します。フィードバックレベルを調節してリピート回数を制御、ハイカットフィルター設定 (範囲: 1 kHz ~ 20 kHz) およびローカットフィルター (範囲: 0-800 Hz、0 = 'オフ') の設定をおこないます。

INV (逆転) – フィードバック信号の位相を反転します。

⑤ **DELAY (ディレイ) 部**

DELAY (ディレイ) – ここを押してディレイタイムを設定します。長押しすると素早く調節できます。

MOD (モジュレーション) – MODULATION (モジュレーション) 部で設定したディレイ信号の変調を可能にします。

INV (反転) – フランジャースイープのスタートとエンベロープピッチシフトの方向を反転します。注意: INV は、MOD が有効で、DELAY の波形が MODULATION 部の ENV または TRIG の場合にのみ有効です。

SUB.D (サブディビジョン) – ディレイタイムを、タップテンポを細分した長さに設定します。

このボタンをタップすると、サブディビジョンのタイプを切り替えます: オフ、ストレート、付点、および三連符。

サブディビジョンのタイプを選択したのち、KEYBOARD エンコーダーを回すと、以下のサブディビジョンを変更します: $\frac{1}{4}$ 、 $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{4}$ 、 $\frac{1}{8}$ 、 $\frac{1}{16}$ 、 $\frac{1}{32}$ 、 $\frac{1}{64}$ 。

TIME (タイム) – TIME LED には結果的なディレイタイムが表示されます。ディレイタイムを手動で設定した場合でも、タップテンポと SUB D 設定でも同様です。

PAN – DYN (パン – ダイナミクス) 部

⑥ **DYN MOD (ダイナミクス モジュレーション)** – MODULATION 部で設定したダイナミックモジュレーションを有効にします。

⑦ **REVERSE (リバース)** – ダイナミックモジュレーションの効果を反転します。

ステップ 2: コントロール

⑧ **DELAY / DIRECT (ディレイ/ダイレクト)** – 赤色 LED で表示されているように、ディレイ信号 (DELAY)、ダイレクト信号 (DIRECT)、または両方のパンニングを有効化します。固定パンの量は、DLY ボタンと DIR ボタンを同時に押し、KEYBOARD エンコーダーを回して調節します – OUTPUT 部をご参照ください。

⑨ **PAN MOD (パン モジュレーション)** – MODULATION 部での設定にしたがい、「オートパンニング」とも呼ばれる、パンニングのモジュレーションを有効化します。

⑩ **MODULATION (モジュレーション) 部**

SELECT (セレクト) – 3 種類のモジュレーション設定のいずれを表示または変更するかを選択します。SELECT を押すと、ディレイ信号 (DELAY) の変調、パンニング (PAN)、およびダイナミック変調 (DYN) を循環します。

WAVEFORM (波形) – 選択可能な 4 種類の波形を循環します: SINE (サイン波)、RAND (ランダム)、ENV (エンベロープ) および TRIG (トリガー)。

SPEED (スピード) – ここを押して、選択したモジュレーションのパラメーターを調節します。

注意: モジュレーションスピードは、タップテンポの細分 (サブディビジョン) に設定します。この設定は、モジュレーション部の SPEED を押してから、ディレイ部の SUB.D を押しておこないます。

DEPTH (デプス) – ここを押して、モジュレーションデプスのパラメーターを表示または調節します。

THRE (スレッシュホールド) – SPEED および DEPTH を同時に押して、スレッシュホールド (しきい値) を表示または調節します。THRE は、ENV または TRIG 波形選択時のみ適用されます。

⑪ **フットスイッチ**

A または B – フットスイッチを押すと、特定のスロットのプリセットが有効になります。再度押すとエフェクトをバイパスします。A および B は、プリセットの保存や、保存するスロットの選択にも用います。

LEARN (ラーン) – タップしてテンポを設定します (タップテンポ)。SUB.D の設定により、結果的なディレイタイムおよびモジュレーションスピードが異なります。MIDI クロック出力も、タップテンポに追従します。

A と B – 同時に押すと、プリセットリストを "下がる方向" に移動します。たとえば、プリセット 22 からプリセット 21 へと移動します。

B と LEARN – 同時に押すと、プリセットリストを "上がる方向" に移動します。たとえば、プリセット 22 からプリセット 23 へと移動します。

背面パネル

⑫ **INPUT (MONO/STEREO)** – 入力 (モノラル/ステレオ) – 標準 $\frac{1}{4}$ インチ TS コネクターに対応したジャックです。ステレオ入力の場合は接続端子を両方とも使用し、モノラル入力の場合は $\frac{1}{4}$ インチモノラルジャックのみ使用します。

⑬ **STEREO IN/OUT (ステレオ 入力/出力) スイッチ** – ステレオ入力とステレオ出力の機能切り替えに使用するスイッチです。これらのジャックは、上向きの位置では、一般的なステレオジャックとして機能します。下向きの位置では、ディレイ信号のセンドおよびリターンとして機能します。

⑭ **OUTPUT (MONO/STEREO)** – 出力 (モノラル/ステレオ) – 標準 $\frac{1}{4}$ インチ TS コネクターに対応したジャックです。ステレオ出力の場合は両方の接続端子を使用し、モノラルの場合は $\frac{1}{4}$ インチモノラルジャックのみ使用します。

⑮ **EXP (エクスプレッション)** – 外部エクスプレッションペダルを、 $\frac{1}{4}$ インチ TRS コネクターで接続します。

⑯ **USB** – USB-C を通じてコンピューターに接続し、無料の 2290 P アプリを使用したり、ファームウェアアップデートをおこないます。

⑰ **DC IN (DC 電源入力)** – 標準 9 V / >250 mA 電源サプライを接続します。安全のため、必ず、ご使用の製品に付属の外部電源サプライをご使用ください。

⑱ **MIDI (IN/THRU/OUT – 入力/スルー/出力)** – 遠隔操作でフットスイッチ制御、プリセット切り替え、および各種エフェクトパラメーターを、リアルタイムで外部 MIDI 機器 (フットコントローラーやご使用の DAW など) よりおこなうための MIDI ジャックです。

JP その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧

の選択: ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラー

ーがお客様のお近くになくときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに

電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

